

気象庁公表の平年値について

1 はじめに

平年値という言葉が天気予報等でよく耳にしますが、これは気温や降水量等の平均的な気候状態を表す用語です。気象庁では、観測地点ごとの気温や降水量等について直近 30 年間の平均値を計算し、その数値を平年値として公表しています。平年値をみれば、その観測地点における気象の特徴をつかむことができます。

平年値は、西暦年の 1 の位の数字が 1 になる年ごとに更新が行われており、気象庁では平成 23 年（2011 年）5 月 18 日に、1981 年から 2010 年にかけての観測値による新たな値の使用を開始しました。そこで、本トピックでは、大都市の観測地点における新平年値について紹介します。

なお、各データ及び図については、気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>) に掲載のものをしています。

2 大都市の気温平年値

まず、気温の平年値についてみてみます。気象庁においては、観測地点ごとの平均気温の平年値や、最高気温及び最低気温の平年値、猛暑日（最高気温が 35℃を超える日）や冬日（最低気温が 0℃を下回る日）の日数の平年値などを公表しています。

表－1 大都市の観測地点における平均気温平年値

観測地点名 月	単位：℃																	
	札幌	仙台	さいたま	千葉	東京	横浜	新潟	静岡	浜松	名古屋	京都	大阪	堺	神戸	岡山	広島	北九州	福岡
1月	-3.6	1.6	3.6	5.7	6.1	5.9	2.8	6.7	5.9	4.5	4.6	6.0	5.2	5.8	4.9	5.2	6.9	6.6
2月	-3.1	2.0	4.4	6.1	6.5	6.2	2.9	7.3	6.5	5.2	5.1	6.3	5.6	6.1	5.5	6.0	7.2	7.4
3月	0.6	4.9	7.8	8.9	9.4	9.1	5.8	10.3	9.7	8.7	8.4	9.4	8.8	9.3	8.8	9.1	9.9	10.4
4月	7.1	10.3	13.4	14.0	14.6	14.2	11.5	14.9	14.7	14.4	14.2	15.1	14.2	14.9	14.5	14.7	14.5	15.1
5月	12.4	15.0	18.0	18.3	18.9	18.3	16.5	18.8	18.7	18.9	19.0	19.7	18.8	19.4	19.3	19.3	18.6	19.4
6月	16.7	18.5	21.5	21.3	22.1	21.3	20.7	22.0	22.0	22.7	23.0	23.5	22.7	23.2	23.3	23.0	22.3	23.0
7月	20.5	22.2	25.1	25.0	25.8	25.0	24.5	25.7	25.7	26.4	26.8	27.4	26.7	26.8	27.2	27.1	26.3	27.2
8月	22.3	24.2	26.6	26.7	27.4	26.7	26.6	27.0	27.0	27.8	28.2	28.8	28.0	28.3	28.3	28.2	27.6	28.1
9月	18.1	20.7	22.7	23.3	23.8	23.3	22.5	24.1	24.1	24.1	24.1	25.0	24.1	25.2	24.4	24.4	24.4	24.4
10月	11.8	15.2	16.9	18.0	18.5	18.0	16.4	18.9	18.8	18.1	17.8	19.0	17.8	19.3	18.1	18.3	19.4	19.2
11月	4.9	9.4	11.0	12.9	13.3	13.0	10.5	13.9	13.5	12.2	12.1	13.6	12.3	13.9	12.3	12.5	14.2	13.8
12月	-0.9	4.5	5.9	8.3	8.7	8.5	5.6	9.0	8.4	7.0	7.0	8.6	7.5	8.7	7.3	7.5	9.4	8.9
年間	8.9	12.4	14.8	15.7	16.3	15.8	13.9	16.5	16.3	15.8	15.9	16.9	15.9	16.7	16.2	16.3	16.7	17.0

注) 政令指定都市名の観測地点及び東京管区気象台における観測値です。川崎市及び相模原市には、気温の観測地点はありません。北九州の値は、下関地方気象台における観測値です。

「京都の夏は暑い」などといわれますが、一例として京都の7月から9月の最高気温を他の大都市の平年値と比較してみると、大阪や堺よりは低いものの、大都市の中では最高気温平年値が高くなっています（表－2参照）。また、7月から9月にかけての大都市における猛暑日の日数を比較すると、京都の猛暑日は15.3日で、大都市の観測地点の中では一番猛暑日を記録する日数が多くなっています（表－3参照）。京都の夏の暑さは平年値にも表れているようです。

表－2 大都市の観測地点における最高気温平年値（7月から9月）

順位	7月		8月		9月	
	観測地点名	最高気温平年値(℃)	観測地点名	最高気温平年値(℃)	観測地点名	最高気温平年値(℃)
1	大阪	31.6	堺	33.5	大阪	29.3
2	堺	31.6	大阪	33.4	堺	29.2
3	京都	31.5	京都	33.3	広島	29.0
4	岡山	31.4	名古屋	32.8	京都	28.8
5	福岡	30.9	岡山	32.7	名古屋	28.6
6	名古屋	30.8	広島	32.5	神戸	28.5
7	広島	30.8	福岡	32.1	岡山	28.4
8	神戸	30.0	神戸	31.8	福岡	28.3
9	さいたま	29.8	さいたま	31.5	浜松	28.2
10	静岡	29.5	東京	31.1	静岡	27.9
11	東京	29.4	浜松	31.1	北九州	27.5
12	浜松	29.4	北九州	30.9	東京	27.2
13	北九州	29.4	静岡	30.8	さいたま	27.1
14	横浜	28.7	横浜	30.6	千葉	26.9
15	千葉	28.6	新潟	30.6	横浜	26.7
16	新潟	28.2	千葉	30.5	新潟	26.2
17	仙台	25.7	仙台	27.9	仙台	24.4
18	札幌	24.9	札幌	26.4	札幌	22.4

表－3 大都市の観測地点における猛暑日日数平年値（7月から9月）

順位	観測地点名	猛暑日日数(日)
1	京都	15.3
2	堺	13.9
3	大阪	11.6
4	名古屋	11.5
5	岡山	10.5
6	さいたま	8.2
7	広島	5.9
8	福岡	5.5
9	新潟	3.2
10	東京	3.1
11	静岡	3.0
12	神戸	2.8
13	浜松	2.5
14	千葉	1.4
15	横浜	1.2
16	仙台	0.6
17	北九州	0.3
18	札幌	0.1

注) 表－1 脚注参照

注) 表－1 脚注参照

3 大都市の降水量及び日照時間平年値

次に、降水量及び日照時間についてみてみます。降水量とは、雨量と降雪量の合計をいいます。日照時間とは、直射日光が雲などにさえぎられずに0.12kw/m²（雲がない場合の、日の出のしばらく後または日没のしばらく前の日射量に相当）以上で地表を照射した時間をいいます。

表－4 大都市の観測地点における降水量平年値

観測地点名		単位：mm																	
月	札幌	仙台	さいたま	千葉	東京	相模原	横浜	新潟	静岡	浜松	名古屋	京都	大阪	堺	神戸	岡山	広島	北九州	福岡
1月	113.6	37.0	37.4	59.6	52.3	58.9	54.6	186.0	75.0	57.0	48.4	50.3	45.4	45.1	37.8	34.2	44.6	75.5	68.0
2月	94.0	38.4	43.1	59.5	56.1	67.5	64.9	122.4	102.6	78.3	65.6	68.3	61.7	58.3	56.9	50.5	66.6	81.2	71.5
3月	77.8	68.2	90.9	110.0	117.5	140.7	141.0	112.6	216.8	149.4	121.8	113.3	104.2	96.9	98.5	86.7	123.9	128.4	112.5
4月	56.8	97.6	102.3	110.4	124.5	144.1	147.0	91.7	209.9	167.5	124.8	115.7	103.8	95.2	101.6	92.3	141.7	135.5	116.6
5月	53.1	109.9	117.3	112.5	137.8	152.2	149.8	104.1	213.0	190.5	156.5	160.8	145.5	132.0	149.7	125.0	177.6	165.5	142.5
6月	46.8	145.6	142.4	149.9	167.7	190.4	190.0	127.9	292.8	241.3	201.0	214.0	184.5	170.2	181.6	171.5	247.0	274.8	254.8
7月	81.0	179.4	148.1	122.5	153.5	168.9	187.9	192.1	277.6	190.0	203.6	220.4	157.0	131.0	152.1	160.9	258.6	287.1	277.9
8月	123.8	166.9	176.3	134.3	168.2	165.0	212.7	140.6	250.9	150.8	126.3	132.1	90.9	87.7	90.9	87.4	110.8	153.3	172.0
9月	135.2	187.5	201.8	200.4	209.9	233.8	270.2	155.1	292.0	248.9	234.4	176.2	160.7	139.3	144.6	134.4	169.5	173.9	178.4
10月	108.7	122.0	164.9	185.9	197.8	205.5	216.2	160.3	199.9	164.5	128.3	120.9	112.3	114.5	98.3	81.1	87.9	70.3	73.7
11月	104.1	65.1	75.7	91.0	92.5	107.0	105.6	210.8	131.5	118.8	79.7	71.3	69.3	73.4	63.4	51.2	68.2	78.8	84.8
12月	111.7	36.6	41.1	51.5	51.0	54.8	55.7	217.4	63.0	52.3	45.0	48.0	43.8	43.5	40.9	31.0	41.2	60.2	59.8
年間	1106.5	1254.1	1346.0	1387.3	1528.8	1688.6	1795.6	1821.0	2324.9	1809.1	1535.3	1491.3	1279.0	1187.0	1216.2	1105.9	1537.6	1684.3	1612.3

注) 川崎市には降水量の観測地点はありません。相模原の観測地点名は「相模原中央」です。北九州は、下関地方気象台における観測値です。

表－5 大都市の観測地点における日照時間平年値

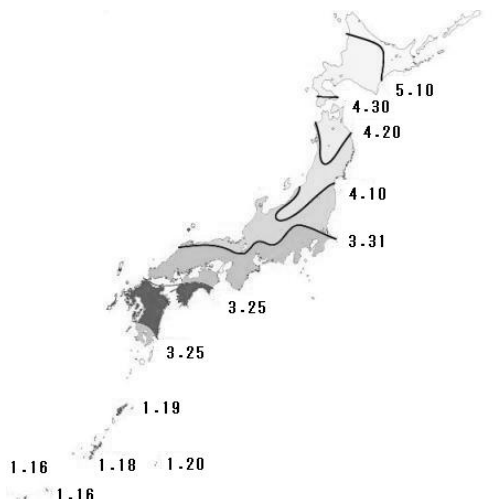
観測地点名		単位：時間																	
月	札幌	仙台	さいたま	千葉	東京	横浜	新潟	静岡	浜松	名古屋	京都	大阪	堺	神戸	岡山	広島	北九州	福岡	
1月	92.5	148.1	193.3	185.1	187.9	186.4	57.1	201.6	196.5	170.1	123.2	142.6	127.3	145.8	150.6	137.2	96.6	102.1	
2月	104.0	151.8	179.9	162.3	167.3	164.0	75.1	181.0	184.2	170.0	117.4	135.4	133.6	137.0	142.3	139.7	114.2	121.0	
3月	146.6	177.0	177.8	160.3	163.1	159.5	128.4	179.1	191.0	189.1	146.8	159.5	167.3	159.9	169.3	169.0	154.7	149.8	
4月	176.5	188.5	185.7	174.1	175.4	175.2	181.8	185.1	195.6	196.6	175.4	188.6	194.6	189.8	190.3	190.1	185.9	181.6	
5月	198.4	185.2	174.7	172.3	172.5	177.1	200.2	183.3	195.8	197.5	180.9	194.3	198.9	193.7	200.7	206.2	200.3	194.6	
6月	187.8	133.8	128.2	125.2	123.2	131.7	173.1	132.1	148.3	149.9	138.3	156.2	161.7	154.2	160.0	161.4	154.6	149.4	
7月	164.9	119.5	145.5	153.0	143.9	162.9	169.4	154.2	177.5	164.3	142.3	182.1	194.1	174.5	171.9	179.5	175.1	173.5	
8月	171.0	144.4	173.0	190.0	175.3	206.3	214.9	201.4	222.6	200.4	182.7	216.9	230.8	215.5	207.0	211.2	209.5	202.1	
9月	160.5	121.2	128.1	127.7	117.8	130.7	150.7	148.9	161.0	151.0	136.8	156.7	166.1	153.2	156.6	165.3	162.2	162.8	
10月	152.3	148.6	137.0	135.6	133.4	141.0	144.0	160.9	165.9	169.0	157.4	163.9	163.3	167.1	173.5	181.8	177.7	177.1	
11月	100.0	139.6	154.5	142.0	146.6	149.3	89.9	170.3	170.0	162.7	138.1	148.5	144.6	150.5	151.9	151.6	134.8	136.3	
12月	85.9	138.6	182.9	176.1	175.0	180.4	60.5	201.1	199.5	172.2	135.8	151.6	137.1	154.0	156.7	149.4	110.0	116.7	
年間	1740.4	1796.1	1960.9	1903.7	1881.3	1964.4	1642.5	2099.0	2207.9	2091.6	1775.1	1996.4	2019.7	1995.1	2030.7	2042.3	1880.5	1867.0	

注) 川崎市及び相模原市には日照時間の観測地点はありません。北九州は、下関地方気象台における観測値です。

大都市の観測地点における年間降水量平年値を比較すると、最も降水量が多いのは静岡で年間2324.9mm、続いて新潟、浜松の順になっています(表－4参照)。一方、年間日照時間平年値を比較すると、浜松が最も長く2207.9時間、続いて静岡、名古屋となっています(表－5参照)。新潟のように、降水量が多いとその分日照時間が短くなるというのはなんとなく想像できますが、静岡や浜松のように、降水量が多いにもかかわらず、日照時間も長いという特徴をもつ観測地点もあります。

気象庁のホームページには、その他にも、気圧、湿度、降雪量や積雪量といった気象に関する平年値が公表されていますが、気象以外にも、桜の開花日やカエデの紅葉日といった、動植物の季節観測に関する平年値も公表されています(図－1及び2参照)。こうした平年値を参考に、各地の気候の違いを比較したり、旅行や行楽の予定を立ててみたりするのもおもしろいかもしれません。

図－1 桜の開花日(平年値)の等期日線図



図－2 カエデの紅葉日(平年値)の等期日線図

